

令和7年度個別学力試験問題

小 論 文

(看護学科)

解答時間 120分

配 点 100点

注意事項

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入してください。
3. 解答は解答用紙の指定された解答欄に横書きで記入してください。
4. 問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁及び汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 問題冊子及び下書用紙は持ち帰ってください。

1 次の文章を読み、あとの設問に答えなさい。

言葉はそれを溶かす

1週間ほど仕事で日本へ行き、英国に戻ったら、わたしが在住するブライトンが大騒ぎになっていた。複数のブライトン在住者に新型コロナウイルスの感染が認められ、医師の感染者もいたことから診療所が閉鎖されたりして全国ネットのニュースや新聞で大々的に取り上げられていた。

「ブライトンに行くのは安全なのか？」という見出しを掲げたタブロイド紙まであり、なんだかこれでは「汚染地域」扱いではないかと思ったが、その時点(2020年2月25日)での英国で新型コロナウイルスの検査で陽性が認められた人の数は9名。そのうち5名がブライトン在住者だった。

こうした事情もあってか、息子が通っている中学でも、アジア系の生徒への風当たりが強くなっているという。もともとアジア系の子どもは、息子曰く「究極のマイノリティー」というほど数が少ないのだが、それだけに目立つ。さらに、咳をしたり、ティッシュで鼻をかんだりしていると、周囲の視線が痛いそうで、あからさまに遠ざかっていく生徒たちもいるらしい。

「こないだ、バス停に立ってたら、久しぶりに通り過ぎる車の窓から『ファッキン・チンク!』って言われた。コロナウィルスがアジア人差別を正当化しているような感じ。黒人差別はダメだけど、アジア人は病気を持ってくるから差別してもOKみたいな」

フランスの地方紙が「黄色い警報」という見出しとともにマスクをつけたアジア系女性の写真を掲載して人種差別的だと問題になったが、ドイツのデア・シュピーゲル誌(欧州で最も発行部数が多いニュース雑誌だ)も感染防護服にガスマスクを着けた人の写真を表紙に掲げて「メイド・イン・チャイナ」の見出しを打った。また、エコノミスト誌の表紙も、「どれぐらい悪化するのか」の見出しとともに中国の国旗の柄のマスクをつけた地球のイラストを掲げていた。

感染症やウィルスが関わってくると、いつもは慎重にポリティカル・コレクトネスの概念を適用する大手メディアさえ迷走を始める。子どもたちにそうしたムードが伝わらないわけがない。

先日も、テレビで新型コロナウイルス関連のニュースが流れていたとき、息子がこんなことを言った。

「今日、授業のために教室を移動していたら、階段ですれ違った同級生の子が、真顔で『学校にコロナを広めるな』って言ったんだ。これはちょっとストレートっていうか、あまりにひどいから、ショックでしばらく棒立ちになった」

「面と向かって言うのはすごいね」

「うん。でもね……」

と言って息子はわたしのほうを見た。

「この話には続きがあって。学食でランチを買うために並んでたら、その子が近づいてきて、すごく申し訳なさそうに『ひどいことを言ってごめんなさい』って謝ったんだ」

「え？」

「僕はひどいこと言われたとき、何も言わずにいたけど、階段で彼が僕に言ったことを聞いていた誰かが彼にあんなことを言うべきではないと話したみたい」

「……誰が、どんなことを彼に言ったんだろうね」

わたしは心からそう思った。彼が息子に言ったことは差別的であることを指摘し、言ってはならないことだったと諭したのだろうか。または、息子は外見はアジア系だが英国に住んでいて、感染のリスクは他の生徒たちとまったく変わらないという事実を指摘したのだろうか。

「どんなことを言ったとしても、言葉にするのって大事だなと思った。僕は黙っていたけど、誰かが話してくれたから彼は自分が言った言葉の意味に気づいて謝ってくれた。だから僕、なんか今日の午後はとてもいい気持ちで過ごしたよ」

言葉は人を不幸にし、怒らせ、他者を憎ませたりするが、同時に人を和解させ、幸福にもできる。その少年が謝罪をしなければ、息子の心にも彼に対する暗い感情の塊が巣食っていたに違いない。固まりかけていたその黒い不穏なものを、「ソーリー」という言葉が溶かしたのだ。

「だけど、僕も少し反省した。実はその子、自閉症なんだ。それで、正直、僕は彼に話してもわかってもらうのは難しいと思って、ただ黙って立っていたんだと思う。それは僕の中にある偏見だったんだ」

と息子は言った。

その少年が新型コロナウイルスを広めているのはアジア人だと信じていたとしたら、息子は息子で、自閉症の少年には抗議したところでわかってもらえないと思い込んでいたのだ。

言葉は思い込みを溶かす。固まっていたもの、凍っていたもの、不変だと信じていたものを溶かして、変える。

誰かの靴を履くためには自分の靴を脱がなければならないように、人が変わるときには古い自分が溶ける必要がある。言葉には、それを溶かす力がある。

(出典：ブレイディみかこ、『他者の靴を履くーアナーキック・エンパシーのすすめー』、
文藝春秋(2021)より)

問 1 この文章には、著者である母に、息子が語った同級生の男の子との間で起こったエピソードが描かれている。この文章の見出しにある「言葉はそれを溶かす」について 300 字以内(句読点を含む)でまとめなさい。

問 2 現代の社会は、社会的多様性を認め、受け入れ、尊重することが求められていますが、著者の意見を踏まえ、あなたが考える社会的多様性に対する理解と対応力について 600 字以内(句読点を含む)で論じなさい。

2 次の図1～4は、日本財団により実施された、18歳意識調査「第50回インターネット利用と侮辱罪」の結果の一部である。本調査は、全国の17歳～19歳の男女を対象としたインターネットアンケート調査で2022年9月22日～9月27日に実施されたものである。図1～4をみて、あとの設問に答えなさい。

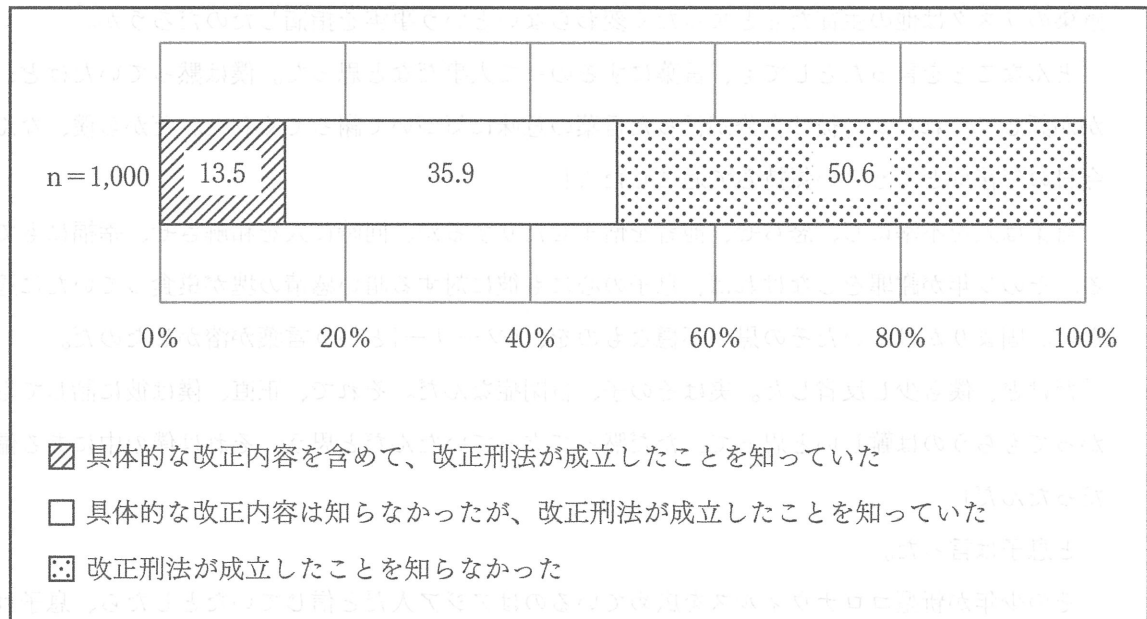


図1.『インターネット上の誹謗中傷による侮辱罪厳罰化のための改正刑法が2022年6月13日に成立したことを知っていますか。(選択式単一回答)』

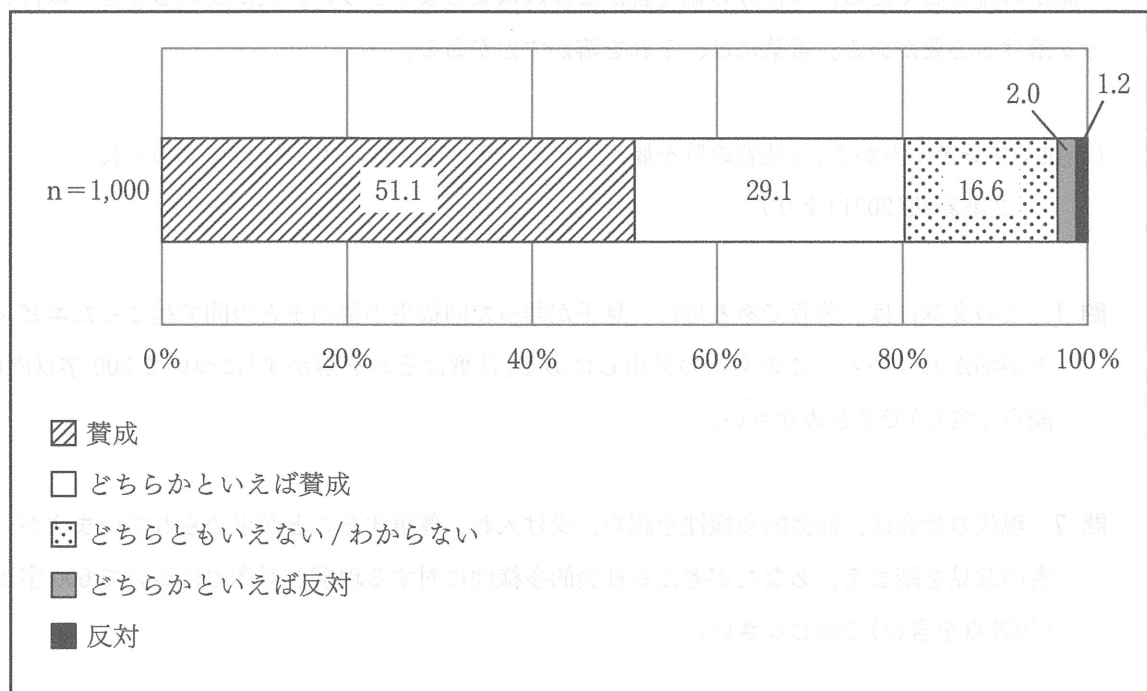


図2.『侮辱罪が厳罰化されたことについて、あなたはどのように考えますか。(選択式単一回答)』

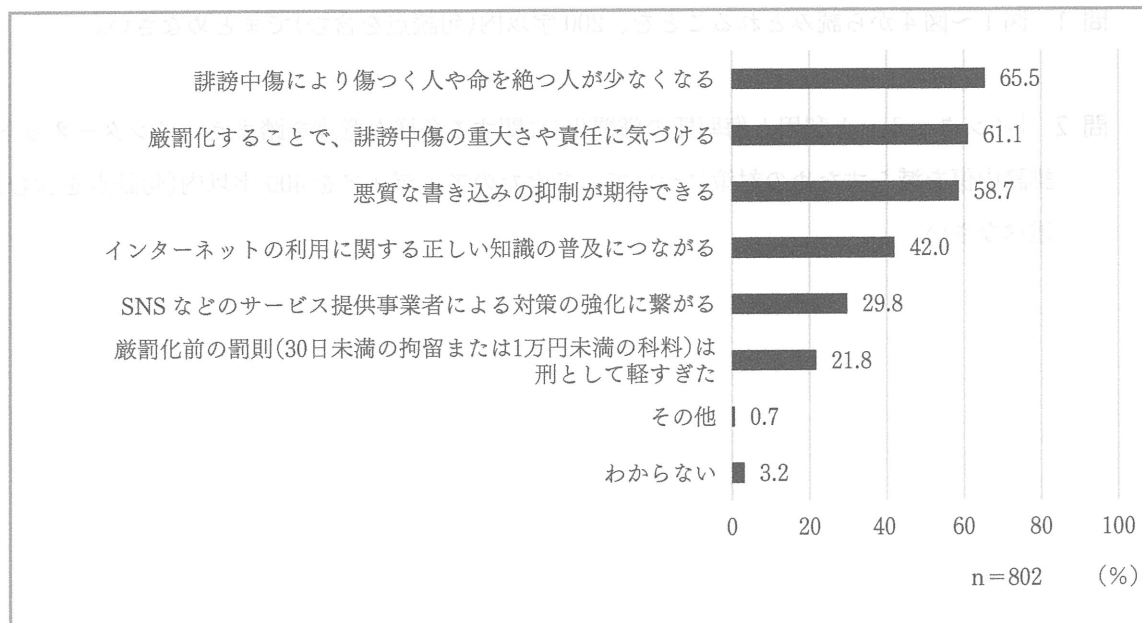


図3.『侮辱罪の厳罰化に「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた理由について、次の中から選択してください。(選択式複数回答)』

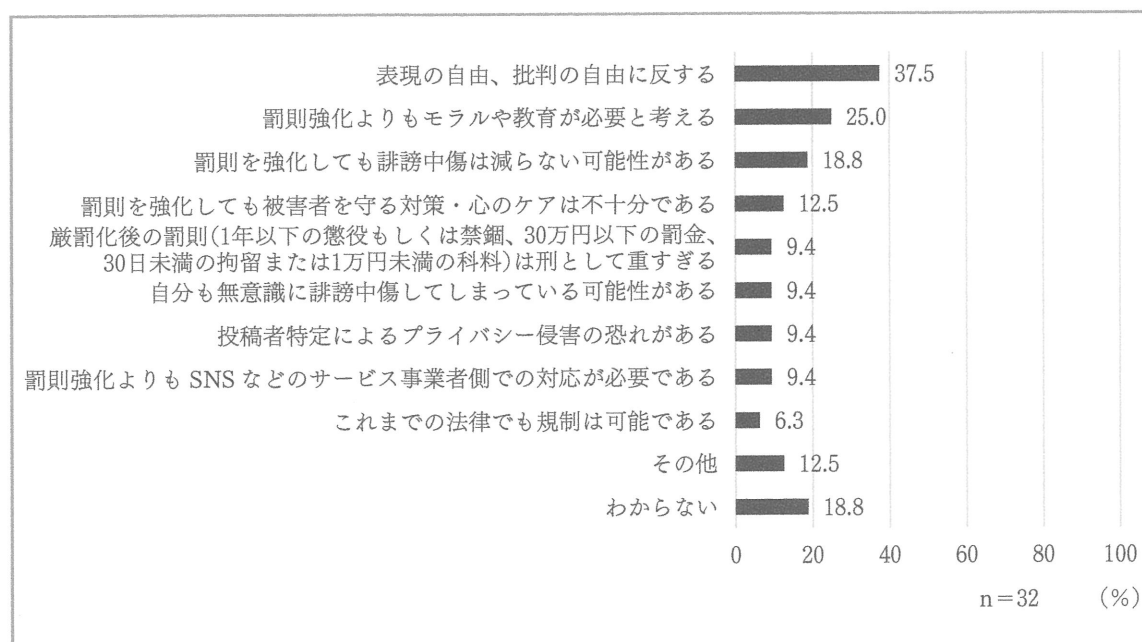


図4.『侮辱罪の厳罰化に「反対」「どちらかといえば反対」と答えた理由について、次の中から選択してください。(選択式複数回答)』

(出典：日本財団、『18歳意識調査「第50回－インターネット利用と侮辱罪－」報告書』

2022年11月より抜粋、一部改変)

問 1 図 1～図 4 から読みとれることを、200 字以内(句読点を含む)でまとめなさい。

問 2 「インターネット利用と侮辱罪の厳罰化」に関する多様な意識を踏まえ、インターネットの誹謗中傷を減らすための対策について、あなたのアイデアを 400 字以内(句読点を含む)で述べなさい。

図 1 本県のインターネット利用状況(推定)と、インターネット利用人口 100 人当たりのインターネット利用時間(推定)の推移(単位:人、時間)

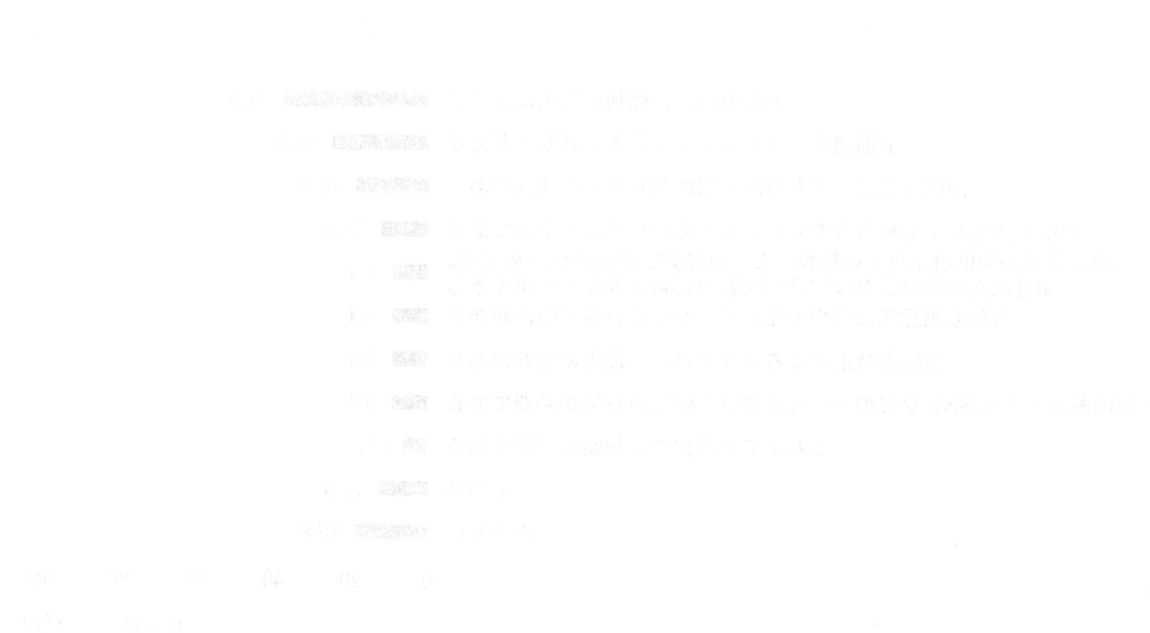


図 2 本県のインターネット利用状況(推定)と、インターネット利用人口 100 人当たりのインターネット利用時間(推定)の推移(単位:人、時間)

(製作者:「インターネット利用状況調査」 問 03 番(詳細調査資料)、同様(日、年))
(発表者:「インターネット利用状況調査」 問 03 番(詳細調査資料)、同様(日、年))

